

基本目標 6 専門的な支援を利用しやすいまちづくり

主要課題 6 - 1 児童虐待等の防止対策と支援の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-1-1 「子どもの権利条約」の周知	<p>子どもの人権の擁護を進めるために、「子どもの権利条約」の周知・啓発を図ります。</p> <p>市が発行する人権啓発パンフレット「人間は、みんな人間だよ。」の中で、「子どもの権利条約」の内容を紹介しました。</p>					人権・男女共同参画課
6-1-2 児童虐待防止の啓発	<p>児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、関係機関の連携を強化し、啓発活動に努めます。</p> <p>パンフレットの配布、ポスターの掲示 広報かまくら、ホームページ、FMかまくら、KCTVなどメディアの活用 県の人権擁護委員会及び子どもの人権専門委員会は小学校児童、中学校生徒に「子どもの人権SOSミニレター」及び「子どもの人権110番周知カード」を配付しました。 児童虐待防止推進月間 広報かまくら、ホームページ、パンフレット、ポスター等で市民への周知を図りました。 「こどもと家庭の相談室」案内パンフレットを市内幼稚園、保育園の全世帯へ配布し、保護者への周知を図りました。</p>					人権・男女共同参画課 こども相談課 教育指導課
6-1-3 虐待の早期発見と予防	<p>健康相談、健康診査、家庭訪問等親と子に接するあらゆる場面において、育児不安の軽減、虐待予防に向けた支援を行い、親自身の育児力の向上を図ります。</p> <p>あらゆる場面において実施しました。</p>					市民健康課
6-1-4 「こどもと家庭の相談室」の開設(17新規)	<p>子どもと家庭の福祉に関する第一義的相談窓口として幅広い相談の受付を行います。 相談・通告への対応に当たっては、児童相談所を始めとする関係機関との連携のもとに取り組みます。</p> <p>相談件数 新規294件 うち虐待と疑われる相談112件 継続延777件 児童相談所への送致件数は0件</p>					こども相談課 7,254千円
6-1-5 相談体制の充実	<p>被害を受けた子どもの心のケアや保護者に対するカウンセリング等について、学校等の関係機関と連携したきめ細かな支援を実施します。</p>					関係各課
6-1-6 主任児童委員、民生委員児童委員の活動の充実	<p>児童虐待の早期発見、早期対応のための主任児童委員、民生委員児童委員の積極的活動を推進します。</p> <p>児童虐待関連研修会等への主任児童委員、民生委員児童委員の出席 地域での子育てサロンの運営を通じた児童虐待の早期発見・早期対応への取組(子育てサロン9か所)</p>					福祉政策課
6-1-7 一時的居住の場の確保	<p>DV被害者への一時支援として、県・NPOと連携し、母子のシェルターへの入所などの支援を行います。</p> <p>0件</p>					こども相談課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-1-8 児童虐待防止ネットワーク組織 (17 新規)	<p>児童虐待問題に対応するため、福祉・保健・医療・教育・警察など関係機関が連携し、子どもや家族への援助の方法や対策を協議し対応を図ります。</p> <p>鎌倉市要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議、実務者会議、援助活動チーム会議の構成で活動しました。 代表者会議 2回、実務者会議 5回、援助活動チーム会議 64回開催</p>					こども相談課
6-1-9 養育支援家庭訪問事業(17 新規)	<p>児童の養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前に、訪問による支援を実施し、安定した児童の養育を目指します。</p> <p>専門的支援 89世帯 256件 日常生活支援 5世帯 129件 250時間</p>					市民健康課 こども相談課 385千円



主要課題 6 - 2 ひとり親家庭への支援の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-2-1 ひとり親家庭相談	ひとり親家庭の自立や求職等の悩みを解決するため、母子自立支援員等による相談を実施します。 相談件数 807件					こども相談課 5,108千円
6-2-2 ひとり親家庭への貸付制度	ひとり親家庭の自立した生活に向けて必要なときに生活資金等の貸付けを実施し、経済面での支援を進めます。 貸付 0件					こども相談課
6-2-3 家事支援の充実	何らかの理由で、一時的に日常生活に支障が生じているひとり親家庭に対して、家庭生活支援員を派遣します。 0件					こども相談課
6-2-4 ひとり親家庭の団体活動の支援	ひとり親家庭が精神的に孤立せず、自立に向けてお互いを支え合う団体活動を積極的に支援します。 鎌倉市母子寡婦福祉会へ補助しました。					こども相談課 85千円
6-2-5 緊急保護体制の充実	保護の必要な母子を、関係機関との連携により、母子生活支援施設等に一時的に保護し、自立支援を行います。 また、緊急に一時的な保護の必要な母子に対し、ショートステイ事業を実施します。 母子生活支援施設 実績なし ショートステイ事業 1施設に委託 実績なし					こども相談課
6-2-6 ひとり親家庭の家賃の助成(再掲)	ひとり親家庭に家賃の一部を助成することにより、その生活の安定と自立の支援を行います。 1-5-2参照					こども相談課
6-2-7 児童扶養手当(再掲)	児童扶養手当法に基づき、母子家庭等に手当を支給します。 1-5-9参照					こども相談課
6-2-8 ひとり親家庭等児童の大学進学支度金(再掲)	ひとり親家庭等の児童が大学等に進学するに当たり、支度金を交付します。 1-5-11参照					こども相談課
6-2-9 ひとり親家庭の医療費の助成(再掲)	18歳に達した後の最初の3月31日までの児童と、その養育者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 1-5-4参照					保険年金課
6-2-10 自立支援教育訓練給付金事業(17新規)	指定された教育訓練講座を受講・修了した母子家庭の母に対し、給付金を支給します。 2件					こども相談課 30千円
6-2-11 高等技能訓練促進費事業(18新規・実)	母子家庭の母の就職に有利な資格の取得を促進し、生活の負担の軽減を図るため、受講期間の一定期間について、高等技能訓練促進費を支給します。 4件					こども相談課 4,340千円

主要課題 6 - 3 障害のある子どものいる家庭への支援の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-3-1 相談体制の充実	<p>特別な支援を必要とする子どもとその家族を対象に、言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・心理士・児童指導員・保育士・小児神経科医師などが関係機関と連携を図りながら、相談・支援を行います。</p> <p>また、母子保健活動との連携のもとで障害の早期発見および支援の充実に努めます。</p> <p>新規相談 発達相談65人 言語聴覚相談89人 リハビリ相談72人 小児神経科医師相談15人 巡回相談 発達相談259人 言語聴覚相談83人 リハビリ相談58人 母子グループ指導 延666人</p>					発達支援室 28,774千円 (2-1-6,6-3-4, 6-3-26,6-3-32 を含む)
6-3-2 療育関係の施設の改築	<p>より充実したバリアフリー化等ニーズに沿って、老朽化した施設の改修に努めます。</p> <p>改修計画を含めた施設のあり方を検討中</p>					発達支援室
6-3-3 統合保育の推進	<p>障害のある子どもの発達の状態に応じて幼稚園での集団生活の中で、お互いの理解を深め協力しながらともに育っていけるよう、関係機関と連携し統合保育の推進に努めます。</p> <p>また、幼稚園での受け入れに対する補助金を交付して障害のある子どもの受け入れ体制を支援します。</p> <p>11園 30人</p>					発達支援室 6,888千円
6-3-4 発達支援指導	<p>言語機能、運動発達、知的発達などにつまづきのある子どもに対する言語指導、リハビリ指導、発達指導の充実に努めます。</p> <p>発達支援指導490人 言語聴覚指導1,563人 リハビリ指導914人 心理指導110人</p>					発達支援室 (6-3-1に含む)
6-3-5 障害者医療費助成(再掲)	<p>一定程度以上の障害のある障害者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。</p> <p>1-5-5参照</p>					保険年金課
6-3-6 特別児童扶養手当(再掲)	<p>特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、一定の障害のある児童(20歳未満)の父又は母若しくは養育者に手当を支給します。</p> <p>1-5-10参照</p>					こども相談課
6-3-7 就学相談	<p>特別な支援を必要とする児童の課題理解に努め、子どもの生涯を見通した情報を提供します。就学に当たって、保護者の不安や負担が軽減されるよう就学相談の充実に努めます。</p> <p>就学指導委員会を5回実施しました。その他、就学相談は随時実施しました。</p>					教育指導課
6-3-8 特別支援教育	<p>特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばすため、個々のニーズに応じた教育の充実に努めます。</p> <p>3-2-18参照</p>					教育指導課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-3-9 障害児の子ども の家への受入れ (再掲)	ノーマライゼーションの観点から、障害のある児童の子どもの家への受入れについて環境を整えます。 1-2-3参照					青少年課
6-3-10 市民啓発事業	子どもの発達・発育に対する理解と意識の向上を図るため、研修会や講演会を開催するほか、広報活動に努めます。 講演会・映画会の開催 10回実施 参加者数 延357人					発達支援室 160千円
6-3-11 児童居宅生活支 援費事業	児童福祉法(18年10月から障害者自立支援法)に基づき、居宅生活支援の福祉サービス(ホームヘルプ、ガイドヘルプ、デイサービス、短期入所)を必要とする障害児(18歳未満)がサービスを利用した場合に、その費用等を支給します。 障害福祉サービス・地域生活支援サービス 登録者数 54人					障害者福祉課
6-3-12 障害児福祉手当	特別児童扶養手当法に基づき、在宅の重度障害児(20歳未満)に手当を支給します。 受給資格者数 38人					障害者福祉課 6,456千円
6-3-13 障害者福祉手当	在宅の重度障害児者に対し手当を支給します。 受給資格者数 3,441人(障害者も含む)					障害者福祉課 103,877千円
6-3-14 障害者福祉タク シー利用料、バス 共通カード購入 費及び自動車燃 料費助成事業	在宅の重度障害児者に対し、障害者福祉タクシー利用券、バス共通カード購入券又は障害者福祉自動車燃料費助成券を交付します。 交付者数 2,011人					障害者福祉課 30,765千円
6-3-15 要保護幼児への きめ細かな対応	言語・行動・知能等の未発達な園児が増加しています。このような園児の早期発見、早期対応の必要に応じてカウンセラーの拡充事業を行います。 0園					私立幼稚園
6-3-16 統合保育	障害児を受け入れて障害児へのサポートと障害に対する認識と理解を深めます。 16年度 14園 21年度 18園 23園					私立幼稚園

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
6-3-17 障害児放課後・余暇支援事業	<p>障害のある子どものいる家族の一時的介護負担軽減と、障害のある子どもが放課後等の活動を行う事業の充実に努めます。</p> <p>毎月定例で、ミュージックタイム、プール活動などの余暇活動を行う団体への補助金交付及び指定管理による事業運営委託を行います。</p> <p>のんびりスペース 登録70人 レスパイト利用 開所日数237日 延1,491人 5,184時間(1日平均6.3人) 障害児活動支援センター 登録86人 レスパイト利用 開所日数309日 延1,816人 5,769時間(1日平均5.9人)</p>					発達支援室 鎌倉市障害児等放課後・余暇支援の会 (社福)ほしづきの里 18,992千円
6-3-19 音楽で遊ぼう	<p>障害児者対象の音楽療法を実施(講師は有料で専門家に依頼)します。</p> <p>毎月第1・第3土曜日午前中</p> <p>20回実施 延337人(家族(77人)は含まず)</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会
6-3-20 ワークアーツスペースぐるるんぱ	<p>障害児を対象に、工作や粘土などを楽しみながらの余暇活動を支援します。</p> <p>毎月第1・第3日曜日午前中</p> <p>13回実施 延54人</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会
6-3-21 施設見学	<p>障害児者の保護者を対象に、将来の進路を考えることを目的とした障害児者施設等の見学を年1回行います。</p> <p>1回実施 参加人数12人</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会
6-3-22 障害福祉相談員による相談	<p>県から委嘱を受けた相談員による各種相談を行います。</p> <p>毎月第2木曜日、その他必要なとき</p> <p>相談者数 310人</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会 鎌倉市身体障害者福祉協会 鎌倉市肢体不自由児者父母の会
6-3-23 補装具・日常生活用具の交付(17新規)	<p>障害児の身体の機能を補い、日常生活を容易にするため、補装具・日常生活用具を交付します。</p> <p>補装具 交付件数 60件 日常生活用具 交付件数 244件</p>					障害者福祉課 10,518千円
6-3-24 プールであそぼう(17新規)	<p>障害児者を対象に専任の指導者、ボランティアがついて、こもれび温水プールで活動しています。平成17年7月開始 毎月1回</p> <p>11回実施 延45人 ボランティア38人</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会
6-3-25 かまくらハイジの会(17新規)	<p>障害児とその家族、ボランティアと一緒に鎌倉近辺の公園で遊んだりハイキングをしています。</p> <p>シーカヤック体験 16人(家族ボランティアを含む) さつまいも掘りとみかん狩り 19人(家族ボランティアを含む) 三菱みなとみらい技術館とシーパス 17人</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
6-3-26 発達支援システムネットワークの設置(17新規)	<p>市内に居住する障害児、発達障害児及び特別な支援を必要とする子どものライフステージに対応する一貫した支援を実施するため、関係各課及び機関を横断的に組織化し、体制の整備を図ります。</p> <p>発達支援システム推進協議会 2回 発達支援システム連絡会議 3回 発達支援システム検討部会 4回 発達支援システムネットワークケース 22ケース</p>					発達支援室 教育指導課 (6-3-1に含む)
6-3-28 障害児者への相談支援体制の充実(18新規・実)	<p>障害児者への総合的な行政サービスを提供するため、相談窓口を一本化し、生涯を通じて一貫した支援を行う総合相談支援体制を整備・充実していきます。</p>					障害者福祉課
6-3-29 知的障害児通園施設利用支援(18新規・実)(再掲)	<p>あおぞら園知的障害児通園施設利用児童の施設利用料を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>1-5-13参照</p>					発達支援室
6-3-30 相談支援事業(19新規・実)	<p>障害者自立支援法に基づき、社会福祉法人及びNPO法人等の相談支援事業者と連携し、身近な地域で、障害のある子どもの保護者などのそれぞれの状況に合わせた相談に応じられるように支援体制の充実を図ります。</p>					障害者福祉課
6-3-31 なみっ鼓(19新規)	<p>福祉センタープレイルームで障害児を対象に、講師を依頼して親子で和太鼓の練習をします。</p> <p>練習を8回実施。参加者延58人 あおぞら園納涼祭、鎌倉養護学校で発表</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会
6-3-32 5歳児すこやか相談(20新規実)	<p>発達障害を含む特別な支援が必要な子どもの早期発見と支援を目的とする「5歳児すこやか相談」を実施するとともに発達障害の理解を図るため、市民啓発に努めます。</p> <p>公立・民間保育園、幼稚園の計3園で実施 対象児数 111人</p>					発達支援室 6-3-1に含む
6-3-33 知的障害児通園支援	<p>発達(知的発達や運動発達)につまづきのある、概ね2歳からの幼児を対象に、集団生活や遊びを通して、基本的な生活習慣や情緒、社会性等の発達を援助するとともに、保護者に対しても必要な支援を行います。</p> <p>知的障害児通園施設(相互利用児を含む)5,909人</p>					発達支援室 34,582千円
6-3-34 チャレンジャー(21新規)	<p>作業療法士の先生が関わって、運動や友達づくりが不器用だったり、ぎこちなかったりする方を対象に、活動やゲーム、制作を通じて、友達と楽しく遊びながら、得意なところをのびし、苦手なことにもちょっとチャレンジします。</p> <p>5回 23人参加</p>					鎌倉市手をつなぐ育成会